

(成果情報名) 地域銘柄鶏の作出を目指した国産鶏の組合せ検定 (平成22年え付け鶏の成績)

[要約] 卵肉兼用の国産鶏の2つの組合せ (88×YA、XS×YA) について、産卵・産肉能力等を産卵用外国鶏と比較すると、88×YAは産卵性が劣るが、産肉性は優れる。また、2つの組合せの国産鶏は、卵質ではハウユニットが低い、卵黄重が重い特徴が認められる。

(実施機関・部名) 農業技術センター畜産技術所

連絡先 046-238-4056

[背景・ねらい]

県内の採卵養鶏場のほとんどが鶏卵の直販を取り入れた経営をしている中で、一部消費者から鶏卵と併せて鶏肉の販売を求める声がある。そこで、(独)家畜改良センターと連携し国産鶏を活用して、産卵能力と併せて産肉能力も高い卵肉兼用という特長を持った地域銘柄鶏の作出を目指す。

[成果の内容・特徴]

- 1 外国鶏(ボリスブラウン)を対照として、卵肉兼用の国産鶏の系統間交雑種である88×YA(産肉系)、XS×YA(岡崎おうはん)について、産卵性、産肉性等を調査する。
- 2 育成成績では、88×YA、XS×YA、外国鶏の順で、飼料総摂取量が多く($P<0.05$)、20週齢時体重が重い($P<0.05$)。
- 3 産卵性では、国産鶏は平均卵重が軽く($P<0.05$)、飼料摂取量が多く($P<0.05$)、飼料要求率が高い($P<0.05$)。特に88×YAは、産卵率が低く($P<0.05$)、日産卵量も少なく($P<0.05$)、飼料摂取量が多く($P<0.05$)、飼料要求率が高い($P<0.05$)。
- 4 卵質では、外国鶏はハウユニットが高く($P<0.05$)、国産鶏は卵黄重が重く($P<0.05$)、卵黄重比が大きい($P<0.05$)。また、XS×YAは、肉斑の出現率が高い($P<0.05$)。
- 5 産肉性では、88×YAが生体重、と体重および正肉重が重く($P<0.05$)、正肉歩留りも高い($P<0.05$)。

[成果の活用面・留意点]

- 1 XS×YAは、平成20年10月に発足した岡崎おうはん振興協議会を通じて、「岡崎おうはん」として民間種鶏場から雛が販売されている。
- 2 88×YAは、(独)家畜改良センターで改良した種鶏を用いて当所で生産した鶏である。

[具体的データ]

表 1 産卵・産肉成績等（0～64週齢）

項目	ボリス 外国鶏 (対照)	88×YA 産肉系	XS×YA 岡崎おうはん 卵重系		
・育成成績					
[育成期（0～20週齢）]					
0～19週齢：					
育成率（%）	98.2	100.0	100.0		
飼料総摂取量（g/羽）	7,670	a 10,893	c 8,958	b	
20週齢体重（g）	1,683	a 2,442	c 1,966	b	
・産卵性					
[成鶏期（20～64週齢）]					
産卵率（%）	88.6	b 79.1	a 92.1	b	
平均卵重（g）	63.7	b 61.1	a 60.8	a	
日産卵量（g）	56.3	b 48.3	a 56.1	b	
飼料摂取量（g/日）	117.6	a 147.1	c 133.5	b	
飼料要求率	2.10	a 3.10	c 2.40	b	
生存率（%）	100.0	96.7	98.3		
64週齢体重（g）	2240	a 3397	c 2634	b	
・卵質（36・64週齢時）					
ハウユニット	86.0	b 78.9	a 80.6	a	
卵殻強度（kg）	3.81	3.89	3.50		
卵黄色	13.66	a 14.20	b 13.82	a	
卵黄重（g）	15.83	a 18.14	b 17.66	b	
卵黄重比（%）	24.71	a 29.06	c 28.31	b	
肉斑出現率（%）	12.00	a 10.00	a 48.00	b	
・産肉性					
[と体検査：♀64週齢時]					
生体重（g）	2167	a 3519	b 2603	a	
と体重（g）	1936	a 3200	b 2328	a	
と体重歩留まり（%）	89.2	90.9	89.3		
正肉重（g）	819	a 1,440	b 996	a	
正肉歩留まり（%）	37.8	a 40.9	b 38.2	a	
剪断力価（kgf）	6.5	11.0	9.1		
クッキングロス（%）	16.7	16.7	14.6		
[と体検査：♂117日齢時]					
生体重（g）	2076	a 2868	c 2425	b	
と体重（g）	1845	a 2610	c 2190	b	
と体重歩留まり（%）	88.8	91.1	90.4		
正肉重（g）	791	a 1,167	c 967	b	
正肉歩留まり（%）	38.1	a 40.7	b 39.9	ab	
剪断力価（kgf）	2.7	2.6	2.5		
クッキングロス（%）	18.0	18.9	17.6		

※同一項目内において異符号間に有意差あり（P<0.05）

[資料名] 平成 23 年度試験研究成績書

[研究課題名] 地域銘柄鶏の作出を目指した鶏卵・鶏肉の高付加価値化技術の開発

[研究期間] 平成 22～23 年度

[研究者担当名] 平原敏史